



カンツバキ [寒椿]

常緑 / 低木 / 木本植物 / 園芸品種



科名 ツバキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

冬枯れの中、花を咲かせる季節感ある常緑樹。寄せ植えに使う背の低い「獅子頭（ししがしら）」と、生垣などに使う立ち性の「立寒椿（たちかんつばき）」がある。ほかにも園芸品種が多い。ルーツは、サザンカとツバキの交配説や、サザンカの一品種から発現説などがある。



Memo

サザンカ、ツバキ、カンツバキは、品種により開花時期に幅があり、10月～3月頃まで楽しめる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期		■											■
果 実										■			
紅 葉													
施 肥		■							■				
剪 定					■ (花後早めに)								

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境		耐 陰	
日 当 り	陽	○	○
土 壌	乾		○
寒 さ	強	○	
暑 さ	強	○	
潮 風	強	○	

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

比較的浅根性（根の張り方が浅い）のため、根元が乾燥すると衰弱するのでマルチング材などで覆うと良い。冬の庭に彩りを添える貴重な常緑樹。落葉樹とバランスよく配置して管理するとよい。

剪 定

萌芽力があり剪定に耐えるので、生垣、添景、刈り込みなど利用範囲は広い。夏には翌年の花芽が形成されるので、剪定は梅雨前がよい。風通しの確保がポイント。

病虫害

「チャドクガ」が発生する。生まれたばかりの幼虫は葉の表面を削るように食害する。この時期なら葉の裏にまとまっているので比較的簡単に除去できる。